



社会新報 (岡山版)

2022年5月1日

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ複合ビル5F
TEL03-3553-3731 1部 〒168円・月720円

岡山市北区辰巳22-103 Tel. 086-242-5510

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html

e-mail : shamim_okayama@fancy.ocn.ne.jp

「声をかけてみろあー!」の行動が
参院選で改憲阻止の力強い一歩に

ロシアのウクライナ侵攻は、主権国を軍事力で支配しようとするもので、明確な国際法違反で絶対に許されません。またプーチン大統領は核兵器の使用をちらつかせ威嚇しました。万一にも核の使用が現実となれば、世界は破滅しかねません。国連の核兵器禁止条約を広げ、地球上の非核化をすすめるのは、被爆国日本が果たすべき役割です。

ところが岸田・自公政権は、この機に乗じてアメリカの「核の共有」、つまり日本の核武装を言いはじめています。非核三原則の放棄や敵基地攻撃能力の保有(先制攻撃に通じる)、国防費の2倍化など、日本を戦争する国へ突き進めよう

「声をかけてみろあー!」の行動が
参院選で改憲阻止の力強い一歩に

戦争が社会をよりよくするのではないことはだれでもわかることです。戦争の一番の被害者は一般市民や女性・子どもたちです。

今夏の参院選は、世界に向けて戦争放棄を宣言した日本が、再び戦争する国となる9条改憲を許すかどうかの大きな選択選挙です。改憲勢力が3分の2を占

祝! 第93回メーデー働く者の団結で いのちと暮らし、平利と民主主義を! 戦争許さない 憲法9条を守る



初夏を思わせる日差しの中 青空を泳ぐこいのほり
吉備路・五重塔付近で 4月20日 (ph・野崎)



4/13 トリチウム汚染水海洋投棄
4/14 アメリカ臨界前核実験抗議
4/5・20党全国一斉行動(4/05)
4/23 市民と立憲野党の合同宣伝
4/27 党定例街宣

今夏の参院選は、世界に向けて戦争放棄を宣言した日本が、再び戦争する国となる9条改憲を許すかどうかの大きな選択選挙です。改憲勢力が3分の2を占

めると3年間は国政選挙がなく、いつでも改憲発議が可能なる「黄金の3年間」を許すことになり得ます。社民の決意が求められます。社民党は参院選に向けて全国一斉行動や組織・新報拡大に取り組みを進めています。支部会議を機に「職場の人に声をかけてみろあー」と言った仲間から早速一部拡大の声が届く。兄弟に頼んだらOKももらった。今日も、「岡山版」読者に声をかけて「うれしい」報告が続く。

参院選(予定) 6月22日公示 7月10日投票
政治を実現するための訴えつづく!

今夏の参院選に向けては様々な取り組みが進んでいます。3月の全国大会で積極的な発言がきっかけ、全国一斉行動もその一つ。岡山でもこれまでの定例街宣や宣伝力に加え、街宣・号外配布を行っています。比例区予定候補・大橋ゆうこ副党首の出身地・高梁市では地元党員らとポスター、号外配布の集

中行動を取り組みました。また「社民党・市民共同全国街宣」もスタートです。ネット・SNSなどの活用も進められています。多くに「T」発信が得意な方のご協力をお願いします。この参院選の特徴に統一名簿での戦いがあり、新社会党・おかざき彩子さんと一緒に戦います。改憲阻止「希望が持てる社会」を実現するため頑張りましょう。

参院選(予定) 6月22日公示 7月10日投票
政治を実現するための訴えつづく!

中行動を取り組みました。また「社民党・市民共同全国街宣」もスタートです。ネット・SNSなどの活用も進められています。多くに「T」発信が得意な方のご協力をお願いします。この参院選の特徴に統一名簿での戦いがあり、新社会党・おかざき彩子さんと一緒に戦います。改憲阻止「希望が持てる社会」を実現するため頑張りましょう。

党県連合活動日誌

- 4/5 市民と野党の打ち合わせ
社民党全国一斉行動 マツキヨ前
- 4/10 4区袖木みちよし政策集会(宮田)
- 4/13 トリチウム汚染水放出反対全国一斉行動
- 4/14 核実験抗議・座り込み/西川・平和像
市民と社民党の意見交換会(宮田・武本)
- 4/16 岡山市平和推進協(武本)
- 4/20 社民党全国一斉行動 マツキヨ前
- 4/23 おかやま労安センター総会
- 4/23 市民と野党の合同宣伝 マツキヨ前
- 4/27 党定例街宣 マツキヨ前

※党宣伝カー随時 ※「新報」号外配布(高梁市)



「新報」読者会
5月10日(第2火) 中止
5月27日(最終金) 18時
5月27日(最終金) 18時
いずれも辰巳・新事務所

祝! 間労働制を要求して1日8時間労働制を求めた人たちの闘いがどう映るか。今日の様相がどう映るか。強い高プロ制度、過労死の多い悲惨な長時間労働は後をたたく。また不安定な非正規雇用や掛け持ち仕事でも生活で足りない低賃金など。必死の闘いに「反抗の増大」と団結が生まれた。いまデジタル化は、隣人への想いを希薄化し団結が立ち往生する。新型コロナ禍がさらに追い打ちをかける。ある小学校現場の教師が語る(朝日3/14)。「時間外の上限を超えそうだと、上司は『全部8時からしちやえ』。8時前の出勤時刻を全て8時から書き替え勤務時間を削る。▼時間外制限オーバーを気づかう口ぶりで土日出勤の1日分をすべて消去し『削つたから』。とつさに出た言葉が『ありがとうございます』。長時間労働の事実が残ると管理職の評価に影響するのかわりと同情する」自分がいる▼自らの意識が問い直しを求められているのではないか。(の)

一案内

5/10(火), 5/17(火) 社民党全国一斉行動 岡山駅・マツキヨ前 18:00	5/25(水) 党定例街宣 18:00~マツキヨ前 5/28 市民と立憲野党合同宣伝 17:00~マツキヨ前	5/13 18:00 国際交流センター 憲法75周年記念集会 講師: 山口二郎 泉平和センター	社民党サポーター募集 社民党には、あなたの声が必要です。 年会費1000円 オンライン申込→ https://sdp.or.jp/sdp-supporter/
--	---	--	--